

新人会員紹介

株式会社 イマジン商会

〈佐田町〉

- 〔代表者名〕 今岡仁左恵
- 〔設立年月日〕 昭和44年1月
- 〔許可業種〕 土木工事業、管工事業
水道施設工事業
- 〔資本金〕 1,000万円

《社長より一言》

この度、協会に入会させて頂きお礼申し上げます。
今後共、ご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。



須佐神社



ゆかり館



[会社名]
グリーン建設(株)
[氏名]
黒田 剛広

②3K(きつい、汚い、危険)についてどう思いますか
きつい、汚い、危険というのは建設業には確かにあると思うけど、このうちどれか一つでも無くなるよう、努力していきたいです。

①建設業に就職した感想

分からない事ばかりで大変ですが、現場へ行き色々な事を体験したり、教えてもらったりすることで、毎日がすごく良い勉強になります。

③これからの抱負

いろいろな資格をとって早く仕事ができるようになり、少しでも会社の役に立てるようになりたいです。



[会社名]
(株)竹下技術コンサルタント
[氏名]
堀切 保則

②3K(きつい、汚い、危険)についてどう思いますか
3Kを含む仕事とは、「誰かが行わなければ社会生活が円滑に運営できなくなり、そのため、社会に対しての重い責任を負う業務。」だと考えています。

①建設業に就職した感想

一般的に硬い職場だと聞いていましたが、入社してみると柔軟で合理的に仕事をされている諸先輩たちの仕事ぶりにたいへん驚きました。また、大学の雰囲気とは全く異なる世界だと感じました。

③これからの抱負

この業界に入ったばかりですから安全確実に業務を処理できるようになることはもちろん、自己の能力を高めるために各種資格試験にも挑戦していきたいと考えています。



[会社名]
(有)江原建設
[氏名]
小池 英伊

②3K(きつい、汚い、危険)についてどう思いますか
快適・清潔・安全になる様に心掛けて仕事をしようと思います。

①建設業に就職した感想

工事を竣工させた時の喜びは最高の気分です。まだまだ分からない事だらけで毎日が勉強ですが、充実した日々を送っています。

③これからの抱負

色々な資格を取得し、今までの経験を活かして仕事をがんばって、はやく、一人前になりたいです。

平成15・16年度

島根県建設工事入札参加資格者格付別業者数

(土木一式工事)

格付	合計	出雲市	平田市	斐川町	大社町	佐田町	多伎町	湖陵町	等級別総合点数
A	51	22	9	9	3	4	1	3	860点以上
B	104	56	16	12	9	4	6	1	710点～859点
C	108	69	14	12	4	3	3	3	709点以下
計	263	147	39	33	16	11	10	7	

(建築一式工事)

格付	合計	出雲市	平田市	斐川町	大社町	佐田町	多伎町	湖陵町	等級別総合点数
A	22	15	2	3	1	—	—	1	850点以上
B	52	31	7	4	5	3	—	2	700点～849点
C	39	23	8	5	1	1	—	1	699点以下
計	113	69	17	12	7	4	—	4	

島根県建設工事入札参加者選定基準表

(土木一式工事)

請負対象設計金額	格付等級	運用できる範囲
	7,000万円以上	A
6,000万円以上7,000万円未満	A	Bが指名総数の1/2以下
3,000万円以上6,000万円未満	B	A //
2,000万円以上3,000万円未満	B	(A+C) //
2,000万円未満	C	B //

(建築一式工事)

請負対象設計金額	格付等級	運用できる範囲
	9,500万円以上	A
7,500万円以上9,500万円未満	A	Bが指名総数の1/2以下
4,500万円以上7,500万円未満	B	A //
1,000万円以上4,500万円未満	B	(A+C) //
1,000万円未満	C	B //

※建設業協会出雲支部事務局調べ



—表紙イラスト—

渡部良治

統一地方選も終わり、いよいよ合併論議も細部にわたって本格化してきました。平成17年1月を目途に2市5町が合併し、新しい市が誕生する予定で、5月末日ですでに新市名称の全国公募も終わり審査中です。

新市の庁舎は現在の出雲市役所が仮の本庁舎となり、その他の市役所と町役場が支所になる「本庁支所方式」になりそうです。

本庁舎までの直線距離で20キロを超える地区は、平田市では伊野地区東部の松江市との境界側の一部、多伎町では口田儀、奥田儀あたり、佐田町では上橋波、吉野地区が該当になります。

庁舎に向かった交通アクセスの時間短縮も必要ですが、新しく同じ自治体になった地区間を結ぶ、環状道路も必要となってきました。



編 集 後 記

首位を快走する阪神タイガース、星野監督が「現役時代は勝てなくて、ケガもあり苦労した」と。特に監督業は苦しみの連続で、胃が痛くなるような毎日だと語っておられました。まさに、苦闘を突き抜けたがゆえに現在の幸せがあるという実感だと思います。

変転の激しい時代、だからこそ企業経営者は常に最悪に備える心構えが必要です。不況の波をまともに受けて山の頂から谷底へ転げ落ちてしまうことさえ珍しくないのですから。

私達に苦労はつきもの。大事なのは昨日より、今日、そして明日です。艱難^{かんなんしんく}辛苦を乗り越えて、明日への希望を託しましょう。

経営改善研究委員 飯塚 強